

クルーズ株式会社

アニバーサリー休暇 / ルーラ制度 / プラチナウィーク制度

年1日全社員が取得できる「アニバーサリー休暇」

当社の設立は2001年であり、2007年2月にJASDAQに上場したITベンチャー企業です。ITベンチャー企業は業界の特性柄忙しくはありますが、クルーズは今後世界へ進出していくに当たり、社員が活躍しやすい環境をつくるだけでなく、社員が安心して長く勤められる環境の実現を目指しています。

当社の休暇制度は、家庭を持った社員でも働きやすいようにと意識したものが多くあります。もちろん、付与の対象者には独身者も含まれますが、家庭を持つ社員にはさらに喜ばれるものが多いと思います。

2007年に制度化された「アニバーサリー休暇」は、自分が選んだ人生の記念日に年1日の休暇を取得できる制度です。自分の誕生日、結婚記念日、子どもの誕生日とさまざまなシーンで利用されており、入社した年度から取得できるのが特徴です。



クルーズの受付。ゲームのプロモーションビデオを座って観賞できる

■ アニバーサリー休暇取得者数

2011年度	104名
2012年度	213名

「アニバーサリー休暇」取得のための啓発活動を積極的に行った結果、2012年度は2011年度に比べ、一気に倍増し、従業員の約半数が取得するに至った。

勤続7年の社員を対象とした「ルーラ制度」

「ルーラ制度」は、勤続7年を迎えた社員を対象に、5日間の休暇と15万円の旅行代金をプレゼントするもので、2011年に制度化しました。

この制度には、長年勤めてくれている社員へのねぎらいとともに、社員を支える家族への恩返しという意味が込められています。もちろん独身の社員も取得でき、一人旅もオーケーです。

クルーズは設立から12年しか経っていない若い企業ですが、すでに十数人が「ルーラ制度」を利用しており、このまま推移すれば取得者はさらに増えることでしょう。

長期休暇の日程を選べる「プラチナウィーク制度」

当社では、ゴールデンウィーク休暇、夏季休暇、年末年始休暇という3つの期間の休暇について、平日と土日をつなげて全社的に9~10連休にしています。社員のリフレッシュを目的としており、これまでの最長は12連休でした。

しかしこの長期休暇には、ウィークポイントもありました。月末月初は事業として大きな施策を実施することが多いため、とても忙しく、それに重なるゴールデンウィークや年末年始は、一部

👉 ここに着目!! (一部とリンクしています)

- 導入に至るまでの背景
- 導入の目的
- 導入のプロセス
- 導入後の効果
- 今後の目標

の社員は休暇が取りづらかったのです。

こうした事情に配慮し、同じ日数分の長期休暇を日程をずらして選択できる制度を導入しました。それが「プラチナウィーク制度」です。

例えば、2013年度の年末年始休暇は12月28日~1月5日(日)ですが、それとは別に2月8日(土)~2月16日(日)を設定し、社員が選べるようにしました。

選択制にしている理由は「やるときはやって、休む時は休む」というクルーズの社風を大切にしているためです。ある程度メンバー同士が足並みをそろえて休暇をとることにより、せつかくの休暇中に業務連絡がきてゆっくり休んだ気にならない、というような事態を回避させる狙いがあります。

また、中には飛行機代や宿泊代が割高な時期からあえてずらして休暇を取り、家族や恋人と旅行を楽しんだ社員もいるようです。長期休暇を選択制にしたことで、より充実した休暇を取る社員が増えたようです。

これらの休暇制度は、そのときの状況に応じて最適な運用・内容であることが求められます。今後も制度をよりよいものにすべく、社員の声を取り入れながら改善していきます。

プライスレス本部
Team 労務管理
野間 公治さん



会社データ
【事業内容】情報(インターネットコンテンツ事業)
【従業員数】518名(2013年12月末時点)
【年次有給休暇の取得率】45.6%
【年間休日数】130日
【URL】http://crooz.co.jp/

制度活用事例



SAP事業本部
(Social Application Provider)
プランナー
三枝 達実さん
【ルーラ制度】

家族4人で楽しむ来年5月の「ルーラ制度」

私は2005年5月にインターンとしてクルーズで働き始め、翌2006年の4月に正社員になりました。そのため勤続年数が丸7年になって「ルーラ制度」を取得できるのは、2014年の4月からです。

妻とは2007年に結婚し、現在は4歳の娘と1歳の息子の4人家族。妻は「ルーラ制度」をととても楽しみにしています。

実は去年、「来年は「ルーラ制度」が取れるね」と勘違いしていました。2014年の4月以降に取得できることがわかり、あらためて行き先を話しあいました。候補は沖縄とハワイでしたが、国内の沖縄はいつでも行けるので、5月に家族全員でハワイの海を楽しもうと計画しています。

子どもたちがまだ小さいため、大きくなった時には鮮明な記憶は残っていないと思いますが、写真やおみやげが、共通の宝物になるでしょう。